

土用の丑の日に関する支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

7月といえば「土用の丑の日」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。夏の土用の丑の日には、夏バテを防ぐために栄養豊富なうなぎを食べる習慣があります。そこで今回は、「うなぎのかば焼き」への支出について家計調査結果からみてみましょう。

丑の日に増える「うなぎのかば焼き」への支出金額

平成21年の「うなぎのかば焼き」への1世帯当たり支出金額を月別にみると、7月の支出金額は年間支出金額の32.1%と約3割を占め、最も多くなっています（図1）。

また、7月の支出金額を日別にみると、「土用の丑の日」に当たる19日、31日及び「土用の丑の日」前の土曜日に当たる18日の支出が特に多く、この3日間だけで7月全体の支出金額の48.1%と約半分を占めています（図2）。

「丑の日」にうなぎ 根強い習慣

次に、最近10年間の「うなぎのかば焼き」に対する世帯員1人当たりの支出金額の推移をみると、年間の支出金額は減少傾向にあるにもかかわらず、そのうち「土用の丑の日」の支出金額^{注1)}は横ばいで推移しており、「土用の丑の日」にうなぎを食べる習慣が根付いている様子がうかがえます（図3）。

注1)夏の「土用の丑の日（一の丑）」及びその前後の計3日間の支出金額

年間支出金額の1位は浜松市

最後に、1世帯当たりの「うなぎのかば焼き」への年間支出金額（平成20～21年平均）を都道府県庁所在市^{注2)}別にみると、浜松市が6,955円と最も多く、全国平均（2,777円）の約2.5倍になっています（図4）。

注2)川崎市、浜松市、堺市及び北九州市を含む

図1 「うなぎのかば焼き」への1世帯当たり年間支出金額に対する月別割合（平成21年）

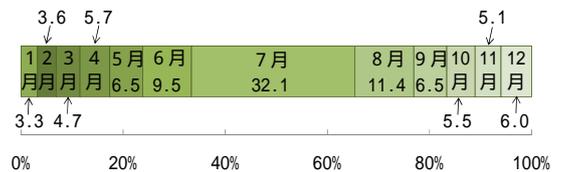


図2 「うなぎのかば焼き」への1世帯当たり日別支出金額（平成21年7月）

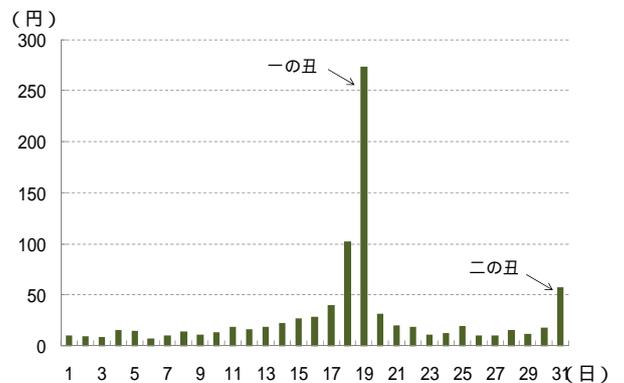


図3 「うなぎのかば焼き」への1人当たり支出金額の推移（平成12～21年）

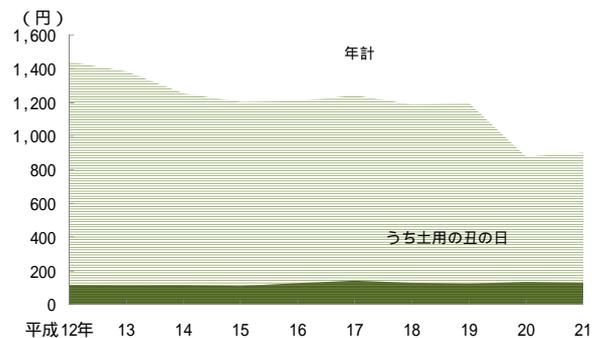


図4 「うなぎのかば焼き」への1世帯当たり年間支出金額（都道府県庁所在市別、平成20～21年平均）

